

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	健康長寿課	
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保	重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援	
分野別方針	(3)介護サービスの充実	実施計画事業	1) 介護サービス推進事業(No.4)	
予算等事業名	介護保険運営事業			
目的	介護保険サービスの適正な認定・給付・賦課徴収を行う。また低所得者への軽減補助を行う。			
内容	—			
根拠法令 ・条例等	介護保険法、介護保険条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか
<input type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している <input type="checkbox"/> ②計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③未実施
②、③に対する理由

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか
<input type="checkbox"/> ①検討できる <input type="checkbox"/> ②削減は困難
理 由

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか
<input type="checkbox"/> ①検討できる <input type="checkbox"/> ②効率化は困難
理 由

中間評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】
------	--

## 総合評価

実績	保険証の作成等に関する事務的経費		
中間評価 との 相違点	—		
事業指標(数値指標)	給付率		
前期(27年度)目標値 単位:	事務経費		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	—		
	介護保険法及び介護保険条例		

## 事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,367	2,247				
財源内訳	一般財源	2,367	2,247				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

### 事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない  【説明】 システム管理や保険証作成など必要な経費であるため	A
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある  【説明】 介護保険事業運営に対する事務的経費であるため	A
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がってない  【説明】 制度周知、保険証の発行など効率良く事務が行われている	A
	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない  【説明】 システム管理や保険証作成など必要な経費であるため経費の支出は止む得ないものである	C
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)  【説明】 システム管理、保険証の作成など効率よく行われている	A
	引き続きシステム、保険証など適正な管理に努める	
今後の方針 (課題・意見 等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	システム管理や保険証作成など介護保険事業運営に必要不可欠なため。						
今後の方向性	システム管理や保険証作成など効率よく適正に管理していくよう努める。						